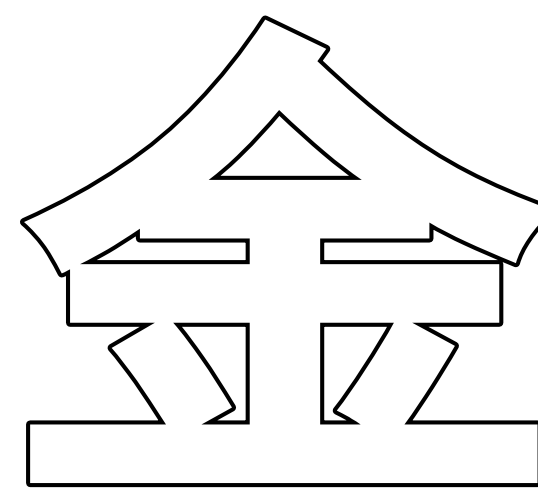


日本団体



男子フルーレ
フェンシング



パリ五輪のフェンシング男子フルーレ団体で金メダルを獲得した(左から)永野雄大、敷根崇裕、松山恭助、飯村一輝＝4日、パリ(共同)

敷根、永野 県勢快挙

【パリ共同】パリ五輪第10日の4日、フェンシング男子フルーレ団体決勝で日本がイタリアを45―36で下し、金メダルを獲得した。東京五輪の男子エペに続く2大会連続の団体制覇となった。これで日本は個人と団体で金2、銀1、銅2のメダルで終え、強化の成果を示した。

世界ランキング1位の日本は、高崎市に本社があるネクサス所属の敷根崇裕(26)と永野雄大(25)をはじめ、松山恭助(27) || JTB、飯村一輝(20) || 慶大の布陣で臨んだ。

日本は初戦でカナダを45―26で下し、フランスとの準決勝は中盤まで互角だったが、45―37で勝利し、決勝に勝ち上がった。

